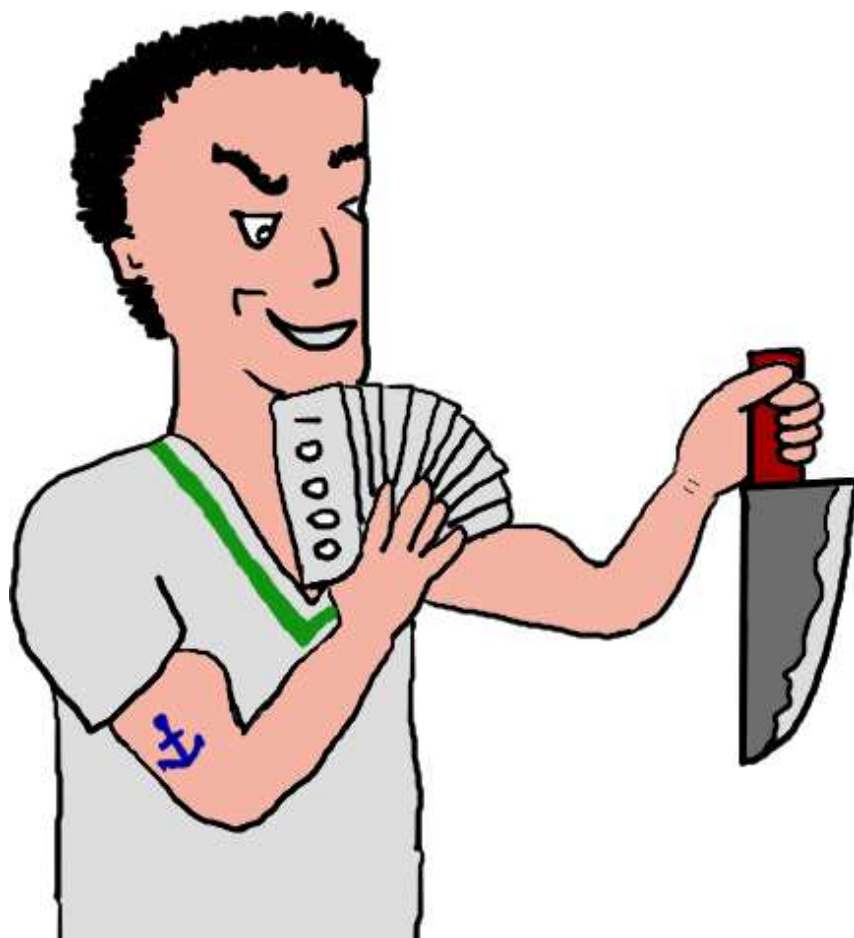


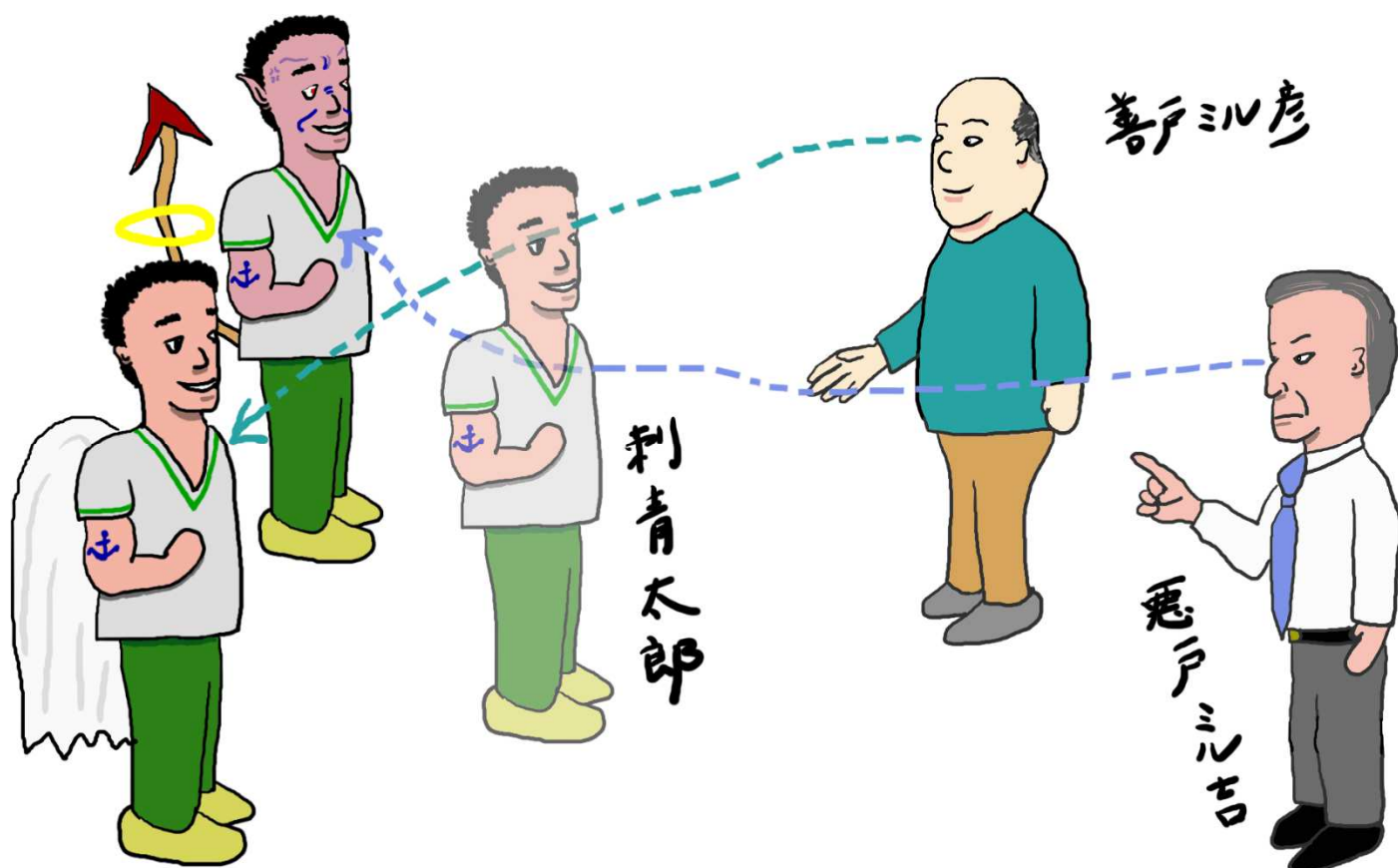
悪い善い人

- 3



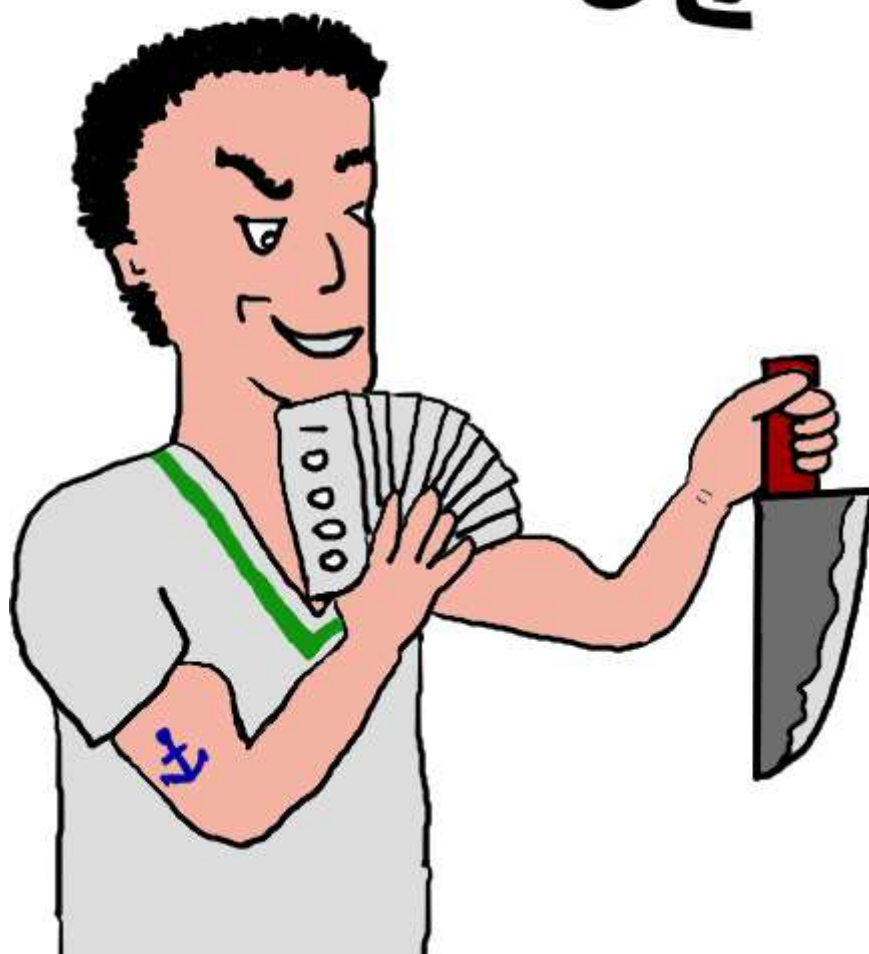
東郷 潤

ここに刺青をした刺青太郎さんと、刺青太郎さんがどんな人かと考えている悪戸ミル吉さん、善戸ミル彦さんがいます。善戸ミル彦さんは、刺青太郎さんを愛に溢れた善い人に違いない、と思いました。一方で悪戸ミル吉さんは、刺青太郎さんを常習的な犯罪者だと思いました。



それで、実際はどのようなのでしょうか？・・・現実の刺青太郎さんは、常習的な犯罪者でした。

金のためなら、
何でもやるぜ



善戸ミル彦さんは刺青太郎さんをとて
も善い人だと思ったので、その認識に
基づいて刺青太郎さんを扱います。例
えば、善戸ミル彦さんが就職の面接官
なら・・・

あなたの会社にぜひ
就職させてください



善い人を積極的に雇おうとするのは、
当たり前のことです。

悪戸ミル吉さんは刺青太郎さんを悪い人だと思ったので、その認識に基づいて刺青太郎さんを扱います。例えば、悪戸ミル吉さんが就職の面接官なら・・・

**あなたの会社にぜひ
就職させてください**



だめ！



悪人らしき人を不合格にするのは、当たり前のことです。

【善戸ミル彦さんの場合】

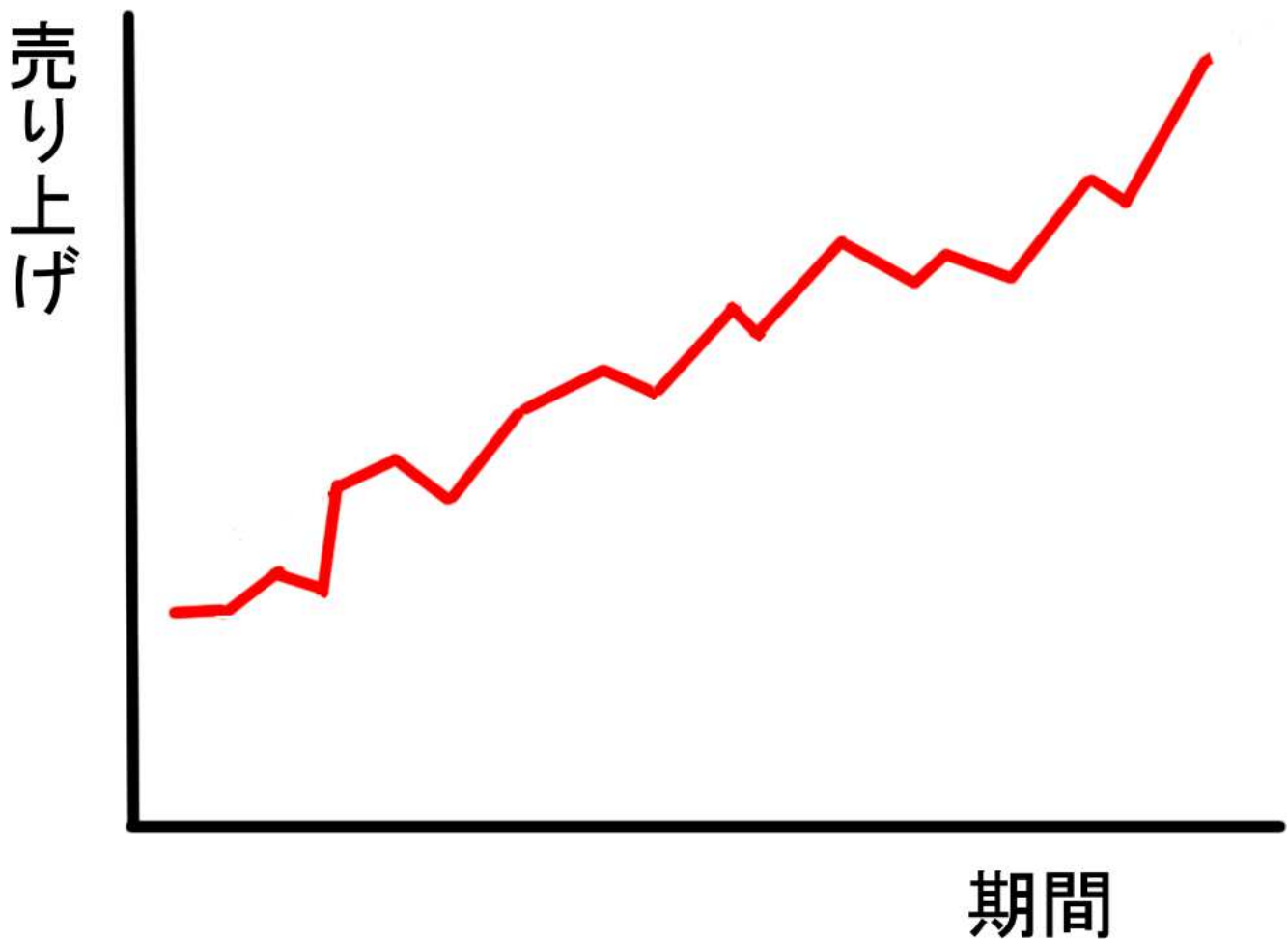
こうして刺青太郎さんは善戸ミル彦さんの会社に雇用され、すぐにお金を盗んで逃げてしまいました。



その結果、善戸ミル彦さんの会社は倒産してしまいました。

【悪戸ミル吉さんの場合】

悪戸ミル吉さんの会社は刺青太郎さんを雇うことは無く、会社のお金は無事でした。



悪戸ミル吉さんの会社は倒産せず、その後、大いに発展しました。

認識を間違えることは危険です。認識を間違えて、望む結果を得ることも出来ません。それは善でも悪でも差別でもない、当たり前前に過ぎません。



あとがき ー絵本「悪い善い人ー3」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013